

のとじま臨海公園水族館

基本的運営方針

のとじま臨海公園は、能登島における優れた自然景観を保持しながら、自然と産業が調和した地域の均衡ある発展と県民の福祉の向上に寄与することを目的として、水族館を中心に海づり施設も備えた家族ぐるみで楽しめる施設を目指している。

その中核となる水族館は、能登半島を中心に生息又は回遊する魚類を中心に収集・展示することを基本とし、飼育にあたっては、飼育技術の向上と繁殖を図るための調査・研究に取り組むこととしている。

また、「イルカ・アシカショー」を始め、「ペンギンのお散歩タイム」や「アザラシのお食事タイム」「マダイの音と光のファンタジア」「イワシのビックウエーブ」など、様々なイベントやショーをとおして、楽しく生きものに親しむことができる体験型水族館を目指すこととする。